



大志ちゃん

氏小だより

令和7年3月17日発行

発行者 氏家小学校長



教育目標 よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子 すべての子どもが輝く学校

★毎日の子どもたちの様子を氏小のホームページでご覧ください！QRコードは裏面に掲載しています★

もうすぐ令和6年度の卒業式・修了式 ~いざ未来へ~

早いもので、いよいよ19日は卒業式、24日は修了式です。この1年間、子どもたちは、日々の授業の中で学び合ったり、学級や縦割り班での関わりの中で思いやりの心を育んだりしてきました。どの学年の子どもたちも1年間で大きく成長したとつくづく感じます。みんなでみんなの氏家小学校をつくろうと、前向きに歩み続けてきた、「氏小かがやきっず」の子どもたちに、感心するとともに、感謝しています。

卒業式では、多くの来賓の皆様をお迎えし、在校生代表の5年生と教職員が式場に参列して卒業を見届けます。5・6年生は、立派な態度で卒業式の練習に取り組んでいます。卒業生、保護者の皆様の心に残る、厳かな雰囲気の中にも温もりのある式になるように全校をあげて準備をしています。心を込めて卒業生の門出を祝いたいと思います。

学校だよりも、今年度の最終号となりました。この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に多大なご支援をいただきました。皆様のご支援、ご協力のおかげで、安全で充実した教育活動を行うことができました。本当にありがとうございました。



★ようこそ先輩2月28日～さくら市制20周年バージョン～★

2月28日（金）の創立記念日に、記念行事「ようこそ先輩」を実施しました。様々な職業で活躍されている26名の本校の卒業生が、講師として授業をしてくださいました。この行事は、キャリア教育とも関連しており、講師の方との交流を通して、子どもたちに夢や希望を与えるとともに、子どもたちが自分なりの人生観を育てる一助となることをねらいとしています。卒業生の皆様のお話は、子どもたちに深い感動とたくましく生きる希望を与えてくださいました。また、今年は、さくら市制20周年行事として、スペシャルコンサートも実施しました。お越しいただいた講師の皆様、子どもたちのために貴重なお話を聞いていただき、本当にありがとうございました。（一部の様子しか掲載できず、とても残念です。他の講師の皆様の写真もホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。）



★3年生豆腐づくり★

こいしや食品の長嶋様においていただき、3年生が豆腐づくりを習いました。3年生は、5月に学校園に大豆を蒔き、9月に枝豆として、11月には大豆として収穫しました。また、国語では「かたちをかえる大豆」の学習を行いますので、実際に大豆がどのように加工されて豆腐になるのかを体験して、児童の学習は深まりました。豆乳を煮立てて、できたゆばをすくったり、にがりを入れて固めたりする行程では、驚きの歓声があがりました。こいしや食品のご協力のおかげで、貴重な体験ができました。お世話になりました。



★あいさつ巡回運動 3月12日★

今年度最後のあいさつ巡回運動を実施しました。青少年センターの皆様、地域の皆様、さくら市教育委員会の皆様が児童にあいさつを呼びかけてくださいました。この運動は、年6回実施されました。はじめは恥ずかしそうにしていた児童も、気持ちのよいあいさつができるようになってきました。あいさつができることは、児童にとって一生の財産になります。皆様のご協力ありがとうございました。



★同窓会入会式・卒業式予行 3月13日★

3月13日（木）、同窓会会長の佐藤泰正様にお越しいただき、同窓会入会式を実施しました。氏家小学校には14,078名の卒業生がいますが、6年生113名がその仲間入りをして、同窓生は、14,191名になりました。佐藤様より6年生に向けて未来への励ましの言葉をいただき、同窓会より記念品をいただきました。記念品は、卒業証書ホルダーです。その後、代表児童が「新入会員の言葉」を力強く述べました。6年生の皆さんには、今後も氏家小学校を愛し、見守り、支えてほしいと思います。そして、氏家小学校の同窓生として自分の夢をもって、大きく羽ばたくことを期待しています。



★伝統のバトンリレー★

3月19日（水）の卒業式を境に、1年間氏家小学校の最上級生としてがんばってくれた113名の卒業生から、111名の5年生にバトンが渡されます。すでに、委員会活動や、国旗掲揚、登校班、卒業式会場準備などで、5年生が最上級生になる練習をしています。氏家小学校152年の伝統が、立派に受け継がれていく様子を見て、嬉しさを感じるとともに、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員への感謝がわいてきます。子どもたちのバトンリレーがしっかりと行えるように、我々教職員も支援をしていきたいと思います。

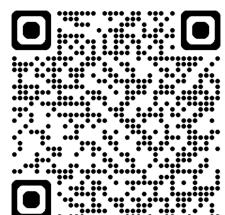


憂いなく 翼を広げて 飛んでゆけ

校長室の窓から

児童の日々の活動を
ぜひご覧ください。

下のQRコードから
氏小のホームページにアクセスできます。



弥生二月は別れの月です。六年間を過ごした小学校を卒業し、児童は中学校へと進んでいきます。希望の中にも、大きな不安や淋しさがあることは想像に難くありません。でも、教諭は送り出さねばならないのです。「何が尊い」の最後にある「今こそ分かれ目、いざやうりば」のフレーズは、いさぎよくて私が好きな一節です。別れを惜しみながらも子どもたちは飛び立つのです。そして、「会うは別れの始まり」だからこそ、別れを繰り返しながら一期一会を大切に毎日を過ごそうと思えるようになります。淋しいけれど希望に満ちた別れ、それが卒業です。

母校は、心に生きる恩師は、傷ついた羽や心を休めに帰つて来る子どもを抱んだりはしません。卒業したとしても、氏小は母なる学び舎であり、再び高く飛ぶための止まり木としてずっとあります。へりきのまえだからです。教師は子どもたちが苦しい時こそ、心を支える存在でありたと感じます。元気ですね。

